

# 令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

## 水球競技戦評

期日：令和7年8月17日（日）  
会場：山口きらら博記念公園水泳プール

ゲームNo.

4

帽子的色 白

帽子的色 青

長浜北星

2 3

$$\begin{pmatrix} 7 & - & 2 \\ 4 & - & 2 \\ 7 & - & 0 \\ 5 & - & 2 \\ \text{PSO} \end{pmatrix}$$

高知連合

6

審判1： 大坂 淳

審判2： 深谷 周平

戦 評

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）、ゲーム番号4は、長浜北星高等学校（滋賀）と高知連合（高知）の一戦となった。近畿ブロック2位通過の長浜北星は、国民スポーツ大会や高校総体の地元開催を控え、長期的な強化を積み重ねてきたチーム。粘り強いディフェンスを基盤に全員攻撃で挑む姿勢を武器とする。一方、四国代表の高知連合は7校合同のチームでありながら、小学生時代から共に活動してきた選手が多く、チームワークの良さが光る。GKを中心とした守備と、1対1で勝負を仕掛ける攻撃力が注目された。

試合は第1ピリオドから長浜北星が一気に主導権を握った。7:49、⑦世一が相手のマークの隙を突いて先制すると、続けて⑤中野、⑦世一、⑩鈴木が立て続けに得点。さらに⑧上田が自ら獲得したペナルティを沈め、④打木、③小田柿も加点。多彩な攻撃パターンから7得点を奪い、攻撃の厚みを見せつけた。高知連合も③別府がフリースローを沈め、⑦片岡がカウンターで1点を返すが、終盤には⑤竹村を中心に守備を固めても止めきれず、スコアは7-2で長浜北星が大きくリードして第1ピリオドを終えた。

第2ピリオドも長浜北星のペースは変わらなかった。⑧上田がミドルシュートを決めると、⑦世一、⑤中野らがカウンターから得点。多彩なシュートを織り交ぜながら得点を重ね、計4得点を奪った。高知連合も②三宮が退水から1点を返し、③別府もペナルティを確実に沈めて食い下がったが、攻撃のバリエーションに差があり、スコアは11-4で前半を折り返した。GK①有藤の好セーブは観客を沸かせたが、チームとしての得点力不足が課題となった。

第3ピリオドでは長浜北星が試合を決定づける。④打木がカウンターから得点を重ねると、⑨五井が冷静にキーパーの前進を見極めてミドルを決め、⑥奥もカウンターから加点。さらに④打木がフェイクとループを巧みに使い、連続得点。1分を切った場面では⑩鈴木がフェイクシュートを沈め、わずか1ピリオドで7得点を奪った。高知連合は②三宮が退水を誘発してチャンスを作るも決めきれず、得点を挙げられない。結局、第3ピリオドは7-0で長浜北星が圧倒し、18-4と点差を大きく広げた。

第4ピリオドも長浜北星の勢いは衰えず、⑨五井がカウンターから追加点を奪うと、⑩鈴木、③小田柿、⑤中野がそれぞれ得点。中でも⑤中野は退水誘発から自らペナルティを決めるなど、攻撃の中心として存在感を示した。高知連合も⑦片岡、③別府が意地の得点を挙げるが、流れを引き寄せるには至らず。最終的にスコアは23-6で長浜北星が勝利を収めた。

試合全体を通じ、長浜北星は序盤からプレスディフェンスを徹底し、奪ったボールを素早く前線につなぐ理想的なカウンターを繰り返した。⑤中野や⑦世一のスピードと突破力、⑧上田や④打木の多彩なシュート、⑩鈴木の決定力と、攻撃陣が幅広く得点に絡むことで試合を優位に進めた。⑨五井はゲームメイクと冷静な判断でチームを安定させ、総合力の高さを示した。

一方、高知連合は③別府の強烈なシュートや⑦片岡、⑤竹村の力強いプレーで随所に見せ場を作ったが、長浜北星の粘り強い守備を突破するのに苦しんだ。GK①有藤のセーブも光ったが、攻撃面では単発に終わり、得点差を縮めるまでには至らなかった。それでも最後まで諦めず、合同チームならではの一体感と高校生らしい粘りを見せた姿は観客の拍手を呼んだ。

試合を通じ、長浜北星が圧巻の攻撃力と組織力を見せつけ、地元開催を控える滋賀県代表として存在感を示した。高知連合も敗戦の中でチームの結束と成長を感じさせ、今後への可能性を残した。両校の健闘を称えるにふさわしい一戦であった。

一方、高知連合は③別府の強烈なシュートや⑦片岡、⑤竹村の力強いプレーで随所に見せ場を作ったが、長浜北星の粘り強い守備を突破するのに苦しんだ。GK①有藤のセーブも光ったが、攻撃面では単発に終わり、得点差を縮めるまでには至らなかった。それでも最後まで諦めず、合同チームならではの一体感と高校生らしい粘りを見せた姿は観客の拍手を呼んだ。

記 録 者

伊藤・加藤・菅原